

## 第2回協議会および意見照会でいただいた御意見と主な対応

当日のご発言及び後日メールで頂戴した意見（意見冒頭に☒と記載。）を事務局にて要約、整理  
5 したものです。

なお、ご発言要旨中の重点的取組の番号等は、第二回戦略協議会資料におけるものを使用しています。

### 1. 重点的取組設定の視点について

10

- ・ 目指すべき社会の姿にある「安全で豊かな質の高い暮らし」と「強靱な国」を、取組の視点に明確に示した方が良い。
- ・ 視点（2）の②が、「成果の社会への実装との整合性」が技術開発と実用化ニーズの高まるタイミングの話であるとすれば、分かりやすく表現を修正すべきである。
- 15 16 ☒「成果の社会への実装との整合性」の趣旨に、規制の問題に加え、社会に受け入れられやすい技術開発（例えば、スマートフォンにおける情報流出によるプライバシーに対する懸念を考慮した技術開発）が必要との観点も加えるべき。
- ・ 重点的取組設定の視点（3）にグローバルな展開を意図するものとローカルな展開を意図するものの位置づけを明確に分けて記述するのが良い。
- 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000

⇒ アクションプラン（以下「AP」と記載。）の本文の3-（3）の文章の工夫と、「3-（3）重点的取組の選定の視点」あるいは5の「個別施策特定の視点」の中で対応。

30

### 2. 重点的取組の構成と整理について

〔重点的取組の統廃合〕

- ・ 重点的取組の重複を排除し、一定の規模感を持たせるためにも、重点的取組をよく整

理すべき。

- 重点的取組には、まとめることが出来る取組があるのではないか？例えば「ICT」や「情報」「伝達」のキーワードが書かれているモノは応用する対象が違うだけで本質的には同じではないか？
- 5 •  通信の確保のためには電力の確保も必要であり、そのためには燃料の輸送の確保も重要。したがって、「流れ」の地震・津波を対象とする3つの取り組み（⑩～⑱）はあえて分ける必要はないのではないか？
- 総花的にやると人も資源も金も分散し成果が得られないということになるので、今年度のフォーカスをどこに置くか、何を重点的に行うかを検討することが重要。
- 10 •  発生初年度ではないことを鑑みた場合、“科学技術”に直結しないものについては別枠で考えた方がいいのではないか？
  - ⇒ 類似の取組 2 組を集約し、22の取組に集約。（H24年度28取組。第2回提示24取組。）  
例えば「情報」に関するものでは、地震や津波の観測情報等の「取得」、住民等への情報の「伝達」、ハード面の情報「基盤」の強靱さ確保など、内容を異にするものは、  
15 敢えて統合を見送った。流れの 3 取組についても、取組の手薄な「物流」、ハード面中心の「情報」「エネルギー等」の集約は、統合効果が手薄と考え統合見送り。  
⇒ 予算の重点化等は、さらに、個別施策の特定の中で対応する旨、AP案P7L5に記載。  
⇒ 社会科学等での対応が必要な取組が他にあることを、AP案P8L18に明記。

20

[時間軸整理の重点的取組への反映]

- 時間軸を考慮して (A)、(B)、(C) の3段階に分類する視点は重要であるので、より明確に示した方が良い。
- もう少し (A)、(B)、(C) の複数に該当するものがあるのではないか。
- 25 •  時間軸の整理に関して、(A) (予防・防災) と (B) (災害発生時および被災直後) の取り組みは互いに深く関連しているため、これらにまたがる技術も少なくない旨を明記するか、(A)、(B) の説明（「災害に対する予防・防災のために必要な技術」、および「災害発生時や被災直後に必要な技術」）の先頭に「主に」を加えてはどうか？
  - ⇒ AP案の別紙1の中に主に該当する時間軸を明記するとともに、AP案別紙3で、  
30 複数に効果があるものを整理。

[「放射性物質による影響」の扱い方関連]

- 地震・津波と放射能は別のものとして取り扱うべき。放射性物質への対応を、強靱な国土作りを目指す地震津波対応と横並びで整理することに違和感がある。
- 35 • 放射性物質への対応は、対象を絞っておいた方が良い。

- ・ 協議会の議論は地元の感情を損なうものであってはならない。その観点からは、放射性物質は (A)、(B)、(C) の時間軸で分けられないほうが良いのではないかと。全てが緊急であり、かつ、全てじっくりやらなければいけないという両面性を持つ。
  - ・ 放射性物質については (A) や (B) に該当するものを取り上げていないことが分かるので、現状のままで良い。
  - ・ H25 A P は H24 を基本として、復興の進捗状況等に応じて中身を妥当なものに変えていくという基本姿勢で進めている。
  - ・ H24 A P においては、現地の人々の課題を一元的に取り扱うという観点から、地震・津波と放射能を横並びにした。
  - ・ 放射能の問題はその影響度等を考えると、現状の災害や時間軸の分類は行わない方が良い。現状の分類にとらわれず、何に取り組むのかということを確認すべきである。
  - ・ 時間軸の分類は分かりやすくするための整理ではあるが重要度に関する整理ではないので誤解されないように留意すべき。取組の重要度については具体的な重点的取組を議論すべき。
  - ・  放射性物質による影響に対する取組みが全て「復興・再生過程の段階で必要な技術」に分類されていることは、今後放射性物質による災害が起こる可能性が低いことを暗に仮定していると理解したが、放射性物質による影響についても時間軸 (A)、(B) の段階で取り組んでおくべきことが無いかをレビューすることは、それなりに価値があると思う。
- ⇒ 「放射性物質による影響」は、「現在必要」とするものを対象とすることを明記 (A P 案 P 5 L 2 5) とともに、A P 案本文 P 7 ~ 8、別紙 1 ~ 3 の表現を見直し。

### 3. 重点的取組について

- ・ 重点的取組のそれぞれの取組の中で、「強靱性」を具体的に示した方が良い。
- ・  「目指すべき社会の姿」として、経済社会システムが速やかに回復できる「強靱さ」を備えた国造りを目指すことを明示することが、平成25年度の特徴。各重点的取組について「強靱性に関わるポイント」を、より具体的に分かりやすく記述し、今年度の特徴を明確にすべき。(併せて8取組に対してキーワードを多数提案頂く。)
- ・ 重点的取組③は「避難行動の促進」に避難ビルやタワーなどの「避難の確保」を追加した方が良い
- ・ 食品の放射性セシウムの国内の基準と規制の妥当性を確認し、必要に応じた見直しを取り組みに加えるべき
- ・  産業の競争力を強化するためには、弱体化した産業基盤の復興・再生も必要であり、

⑦の取組に明記すべき。

- ・ 「強靱な国」を目指すのであれば、サプライチェーンの中でどこがクリティカルノードになっているかの「気づき」が必要であるが、取組の中に見当たらない。
- ・ 産業全体のサプライチェーンのBCPは一企業でやれないので国と連携する必要性は認めるが、科学技術イノベーションが必要かは疑問。
- ・ 社会の中での脆弱部、クリティカルインフラストラクチャのリストアップは必要。
- ・ 「強靱な国造り」を目指すためには、地域を守るバックアップ機能の確保の中で、被災地以外の役割も検討することが重要。

⇒ 以上の御意見については、資料3-2-3に対応を記載する。なお、文章の適切な表現や正確さ確保等のために頂いた一部指摘については、ここへの記載を省かせて頂いた。

- ・ 命・健康を守る観点からも、長期間にわたり非常食に頼ることのない食のあり方について追加すべき。

⑫（取組⑭関連意見）技術開発のみならず、ローテクを活用した社会科学的コア技術の開発・実装や、小さな単位で現場ニーズを吸い上げられる仕組みづくりなども考えられる。人文社会学的なものを積極的に取り上げるような協議会の進め方が必要。

⑬（取組⑮関連意見）大都市圏の移転や分散についても、タブー視せず取り組むべき。技術のための技術の議論ではなく、早急に取り組むべきこととして、協議会で取り上げるべき。

⑯⑰（取組⑳㉑関連意見）除染の有効性に関する議論を行った上で、チェルノブイリ事故後にロシア政府が取ったという避難等の別の方策まで立ち返って、本当に必要な方法で復興を目指すべき。

⇒ 第3回までのAP案の議論は、対象とする予算が科学技術関係のものに限られており、主に、人文社会系の研究や、行政や教育の進め方に関するものについて、重点的取組の対象外。

このため、AP案本文P8L18に、別途、社会科学分野の研究や、行政・教育分野の取り組みに委ねるものがあることを記載するとともに、P7L8に、科学技術分野の関係者でクローズすることのない、オープンな体制で進めることの重要性を記載した。

#### 4. 個別施策に対する特定の視点、施策のフォローアップについて

- ・ 個別施策の推進にあたっては、「目指すべき社会の姿」、「政策課題」、「重点的取組」と

整合性を持って進められることが重要である。そのためにはプロジェクトマネジメントが極めて重要であり、資料2-1-2の個別施策特定要件にあるプロジェクトマネジメントの記述（視点（2）①ニ）は、大きな項目として掲げた方がよい。

⇒ 重点的取組設定の視点の該当部分の表現で工夫。

- 5
- ・ 今年度のターゲットを明確にするためには、昨年の課題の何が解決できて、何が課題のまま残っているかを示すべきである。定量的に設定した目標に対する達成度が分かる  
とよい。

⇒ 平成24年度から作成を開始した復興・再生のアクションプランについては、予算執行開始から間もないため、現時点では達成度は確認できない。

10

## 5. その他の御意見

- 15
- ・ 通常は、研究開発成果が雇用に結びつかない場合が多いため、研究の成果を事業に結びつける方策（例えば、研究開発を無償で事業に活かせるような方法論など）を考えるべき。第4回以降の戦略協議のテーマにある、「創業・雇用に結びつく研究開発の進め方」は、「創業・雇用に結びつく研究開発と事業創造の進め方」として事業に結び付ける観点も明示する方がよい。

- 20
- ・ 起業、産業の競争力強化については、取組を具体的に考える必要がある。例えば、税制的なインセンティブ、特区などのような規制緩和、ファンドによる取り組みの誘導、政府のアナウンスメントが重要と考えている。

- ・  最近設立させた米国のロケット打ち上げ会社スペースX社のように、世の中のニーズに合わせて柔軟に会社が立ち上がるようなことが、日本でできない原因も研究すべき。  
⇒ 以上の御意見については、第4回以降の協議会において、より具体的にプレゼンや  
25 議論をいただきたい。

- ・ 地元におけるリスタートのための具体的ニーズをつかみ、そこに材料を提供することが重要。インフラの整備にしてもシーズ側からの技術提供ではなく、技術の受け手として強いニーズを持つ実施意欲のある自治体と手を握ってトップランナーを作り、他のところがそれに着いていくタイプの復興の姿が望ましいと考える。

30 ⇒ アクションプラン作成後、事務局で自治体との意見交換を計画したい。

(以上)